

担 当	独立行政法人 労働者健康福祉機構 医療事業部 勤労者医療課長 伊津野信之 研究班長 西園 修一 電話 044 - 556 - 9867 直通
--------	--

**働く人々の生活習慣病予防指導に19,406人
(過重労働による健康障害防止対策をサポート)
(平成15年度 27施設)**

- 1 独立行政法人労働者健康福祉機構（理事長伊藤庄平）では、平成13年度から、厚生労働省が推進する、過重労働による健康障害防止対策の一環として、脳血管疾患及び虚血性心疾患（「過労死」等事案）の危険因子とされている高血圧、高脂血症、高血糖、肥満の4つの所見（死の四重奏）を1つでも有する勤労者を対象に、労災病院群が有する医師、保健師、理学療法士、管理栄養士の医療専門スタッフを活用して保健指導、生活指導、栄養指導、運動指導¹等を労災病院に併設されている勤労者予防医療センター及び勤労者予防医療部（以下、勤労者予防医療センター（部）という。）において行い、生活習慣の改善を図り、高血圧、高脂血症、高血糖、肥満の改善を行ってきた。
また、その設置箇所についても、平成13年度の9カ所から順次拡大し、平成15年度には、27の勤労者予防医療センター（部）を設置し活動を行ってきたが、今般、平成15年4月から平成16年3月までの1年間の件数や内容を取りまとめた。
- 2 それによると、
 - (1) 勤労者に対する保健指導等の個別指導は、19,406人。これに加え、勤労者及びその家族、企業の健康管理者等を対象とした講習会の参加人数は、14,253人。医師、保健師を対象とした研修会の参加人数は、3,515人となっており、これらの合計は37,174人となった（1人が複数回受けている場合もある。）
 - (2) 個別指導件数の内訳としては、運動指導（31.8%）が最も多く、以下保健指導（27.0%）、栄養指導（21.6%）、生活指導（19.6%）となっている。性別では男性が59.9%、女性が40.1%となっている（1人が複数回受けている場合もある。）
 - (3) 年齢別では、50代及び40代が特に多い。また高血圧、高脂血症、高血糖、肥満の中では、高脂血症（24.1%）、肥満（21.3%）が多い（1人が複数の所見を抱えている場合もある。）
- 3 この事業は、平成16年度において、勤労者予防医療センターを3施設、勤労者予防医療部を2施設拡充し、全国32施設で実施している。

4 お問い合わせは、最寄りの労災病院勤労者予防医療センター(部)又は独立行政法人労働者健康福祉機構本部(医療事業部勤労者医療課)(指導自体の対応は行わない)へ 044-556-9867(ダイヤルイン)

www.rofuku.go.jp(ホームページアドレス)

1 独立行政法人労働者健康福祉機構は、全国27の勤労者予防医療センター(部)において、過重労働による健康障害防止対策の一環として、勤労者及び家族、企業の健康管理者等を対象として実施した保健指導、生活指導、栄養指導、運動指導等の平成15年4月から平成16年3月までの1年間の件数や内容を取りまとめた。

2 それによると、今回の分析の対象となった勤労者の個別指導件数は19,406人。勤労者及びその家族、企業の健康管理者等を対象とした講習会の参加人数は、14,253人。医師、保健師を対象とした研修会の参加人数は、3,515人となった(1人が複数回受けている場合もある。)

個別指導件数の内訳としては、運動指導が6,162人(31.8%)、保健指導が5,236人(27.0%)、栄養指導が4,195人(21.6%)、生活指導が3,813人(19.6%)と続いている(1人が複数回受けている場合もある。)

個別指導の性別では男性が11,633人(59.9%)、女性が7,773人(40.1%)となっている(1人が複数回受けている場合もある。)

3 年齢別の指導状況をみると

- | | |
|---------|---------------|
| ① 50代 | 7,317人(37.7%) |
| ② 40代 | 5,231人(27.0%) |
| ③ 60代 | 3,314人(17.1%) |
| ④ 30代 | 2,587人(13.3%) |
| ⑤ 30代未満 | 556人(2.9%) |
| ⑥ 70代以上 | 401人(2.0%) |

等と続いている(1人が複数回受けている場合もある。)

この結果によると、40代、50代の中老年と呼ばれる世代に非常に多いことがわかる。

4 所見別(死の四重奏)をみると

- | | |
|--------|---------------|
| ① 高脂血症 | 6,532人(24.1%) |
| ② 肥満 | 5,790人(21.3%) |
| ③ 高血圧 | 3,692人(13.6%) |
| ④ 高血糖 | 3,324人(12.2%) |

等と続いている。(1人が複数回受けている場合もある。)

この結果によると、1人が複数の所見を抱えている場合が多いことがわかり、総合的な指導・治療が重要となる。

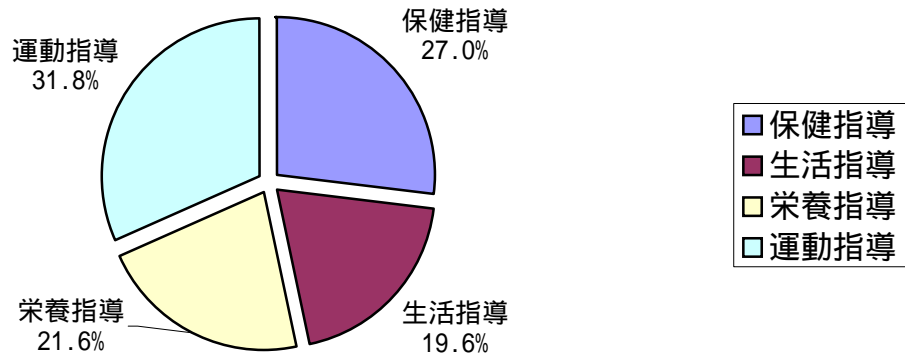
なお、所見別(死の四重奏)については、死の四重奏以外の所見を抱える場合も7,814人(28.8%)あった。

5 なお、勤労者予防医療センター(部)の所在地及び電話番号等については別紙のとおり。

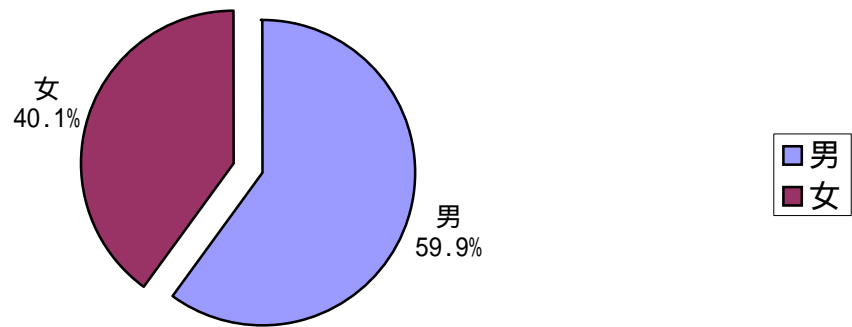
【補足事項】

- 1 保健指導：医師が、生活指導、栄養指導、運動指導を含む総合的な指導を実施
生活指導：医師、保健師が、喫煙、飲酒などの習慣や不規則な生活についての指導を実施
栄養指導：栄養士が、食事のバランスなど食生活の改善についての指導を実施
運動指導：理学療法士が、健康状態や体力にあった運動(実践)を実施
講習会：勤労者及びその家族、企業の健康管理者等を対象として、疾病の予防及び症状の改善、増悪防止のために実施
研修会：産業医、労災保険による「二次健康診断等給付」を行う病院等の医師、保健師に対するスキルアップのために実施

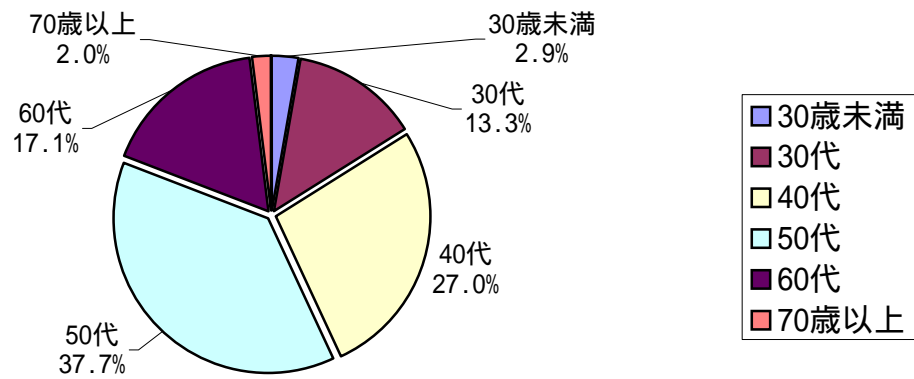
1 指導件数



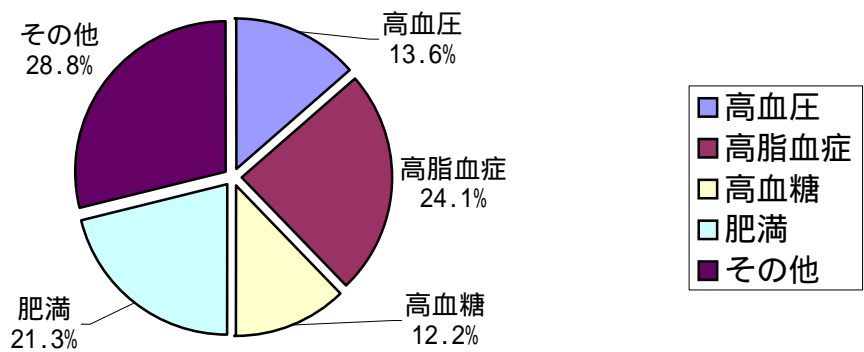
2 性別



3 年齢別



4 所見別



勤労者予防医療センター(部) 平成15年度実績

1 指導内訳

	保健指導	生活指導	栄養指導	運動指導	合計
指導件数	6,602	5,110	5,517	13,045	30,274
勤労者数	5,236	3,813	4,195	6,162	19,406
性別	5,236	3,813	4,195	6,162	19,406
男	3,715	2,563	2,814	2,541	11,633
女	1,521	1,250	1,381	3,621	7,773
年齢別	5,236	3,813	4,195	6,162	19,406
~ 29	137	105	149	165	556
~ 39	744	519	617	707	2,587
~ 49	1,503	1,014	1,059	1,655	5,231
~ 59	1,990	1,475	1,592	2,260	7,317
~ 69	740	623	691	1,260	3,314
70 ~	122	77	87	115	401
所見別	6,132	5,544	5,854	9,622	27,152
高血圧	743	594	688	1,667	3,692
高脂血症	1,409	1,336	1,473	2,314	6,532
高血糖	950	603	683	1,088	3,324
肥満	1,203	829	1,007	2,751	5,790
その他	1,827	2,182	2,003	1,802	7,814

指導、所見に関しては複数あり

2 講習会・研修会

	講習会	研修会
参加人数	14,253	3,515
開催件数	435	52

参加人数に関しては複数あり